平成３０年度

第１回区民アンケート報告書

大阪市阿倍野区役所

■アンケート概要

（1）調査の目的

本区では、「誰もが住みたい、住み続けたいまち『あべの』の実現」をめざし、「阿倍野区将来ビジョン」・「阿倍野区運営方針」に基づき、さまざまな取組みを行っています。

本アンケートを通して、区の事業や取組みについて広く意見や評価をいただくことで区民ニーズを把握し、今後の阿倍野区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的としています。

（2）調査方法

調査対象　　：住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上（平成 30 年 4 月 1 日現在）の阿倍野区民（外国籍住民を含む）3,840 名

調査期間　　：平成 30 年 9 月 27 日（木）～平成 30 年 10 月 12 日（金）

調査方法　　：調査票の送付による配布と返信封筒による回収

（3）区民モニター数および回答者数

	区民モニター数（男性）	区民モニター数（女性）	総計	回答者数（男性）	回答者数（女性）	総計	回答率
18～34歳	640	640	1,280	90	124	214	16.72%
35～64歳	640	640	1,280	178	198	376	29.38%
65歳以上	640	640	1,280	241	227	468	36.56%
総計	1,920	1,920	3,840	509	549	1,058	27.55%

（4）報告書の見方

○特にことわりのない場合は全て複数の選択肢から 1 つだけを選択して回答する問となっています。

○結果数値は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。

（5）調査結果

区民の意見やニーズに的確に対応する仕組みづくりと発信力の強化

問１　あなたは、阿倍野区の区政運営について、区民の意見などを施策・事業に反映していると感じていますか。

○全体

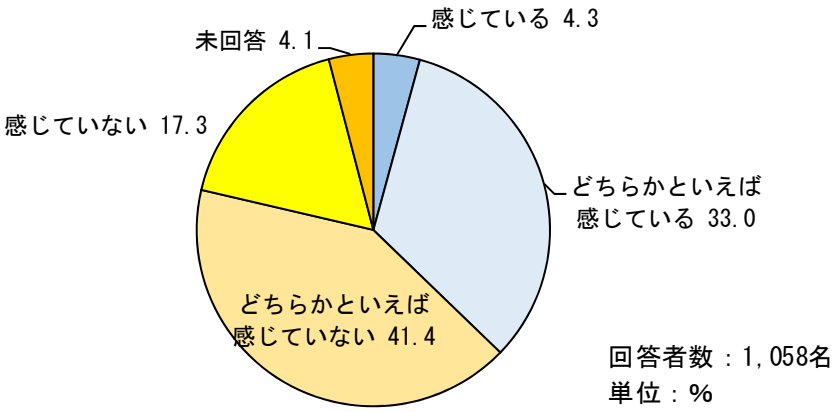
全体では最も多かった回答は「どちらかといえば感じていない」（41.4%）となりました。

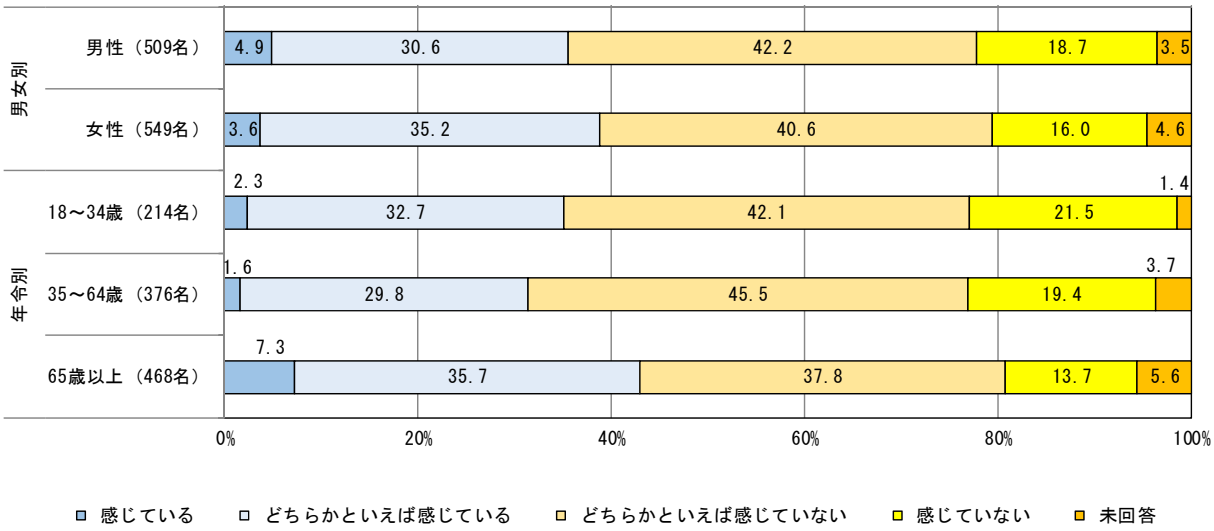
○男女別

男女別では大きな差異は見られませんでした。

○年令別

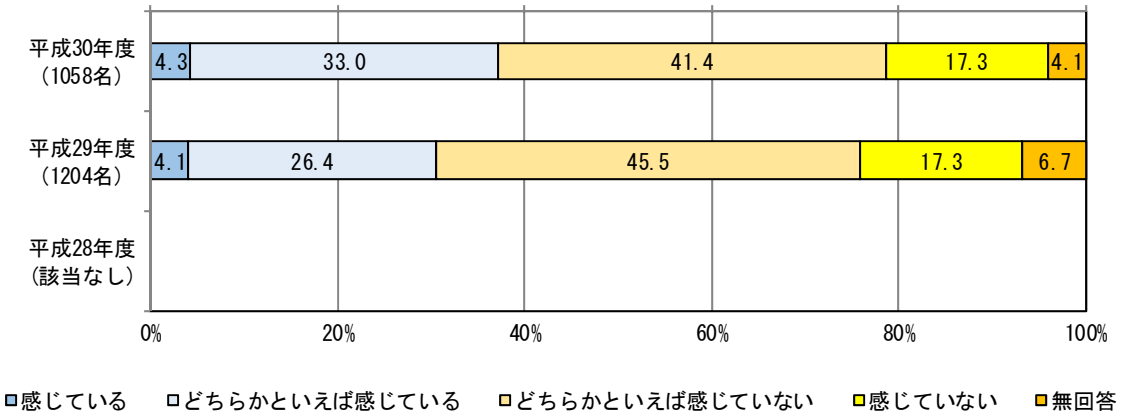
「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた割合を見ると、65 歳以上の方の割合が 43.0%となり、年令層が高いと割合も高くなる傾向が伺えます。





○経年変化

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた割合を見ると、平成 29 年度は 30.5%、平成 30 年度は 37.3%となりました。この結果より、昨年に比べ、区民の意見などを施策・事業に反映していると感じている方が増えている傾向が伺えます。



質の高いサービスの提供

問２　あなたは、効果的・効率的な業務運営（※）に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組みが進められていると思いますか。

（※）待ち時間短縮、レイアウトの工夫、業務の一部民間委託などの業務改善や経費削減を行うことを意味します

○全体

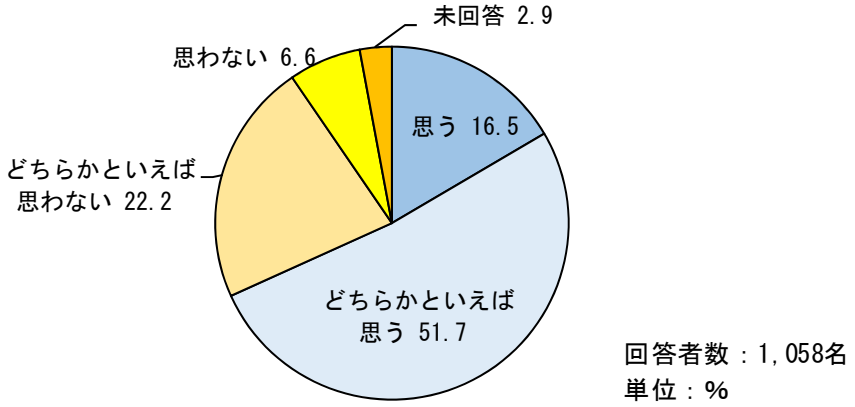
全体で最も多かった回答は「どちらかといえば思う」で割合は 51.7%となりました。

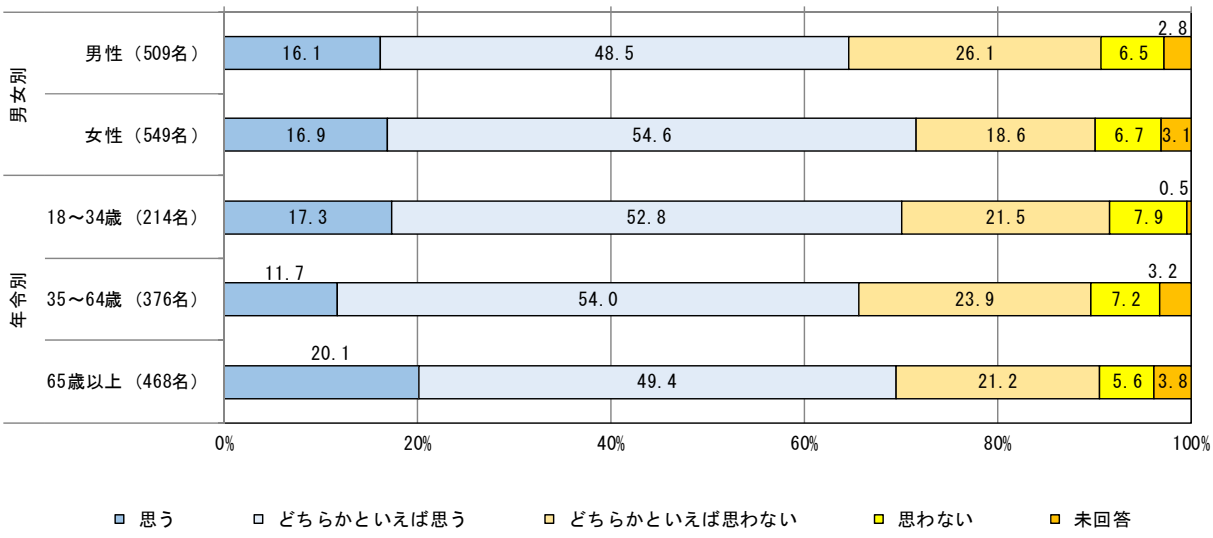
○男女別

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた割合は男性 64.6%、女性 71.5%となり、女性のほうが、高い割合を示しました。

○年令別

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた割合は、18～34 歳（70.1%）と 65 歳以上（69.5%）がほぼ同じ割合となりました。





問３－１　あなたは、この１年間に、来訪や電話で区役所を利用したことはありますか。

○全体

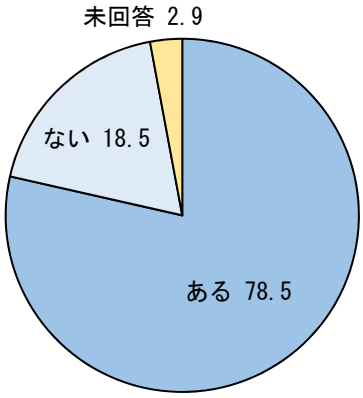
全体では「ある」と回答された割合 78.5%、「ない」は 18.5%となりました。

○男女別

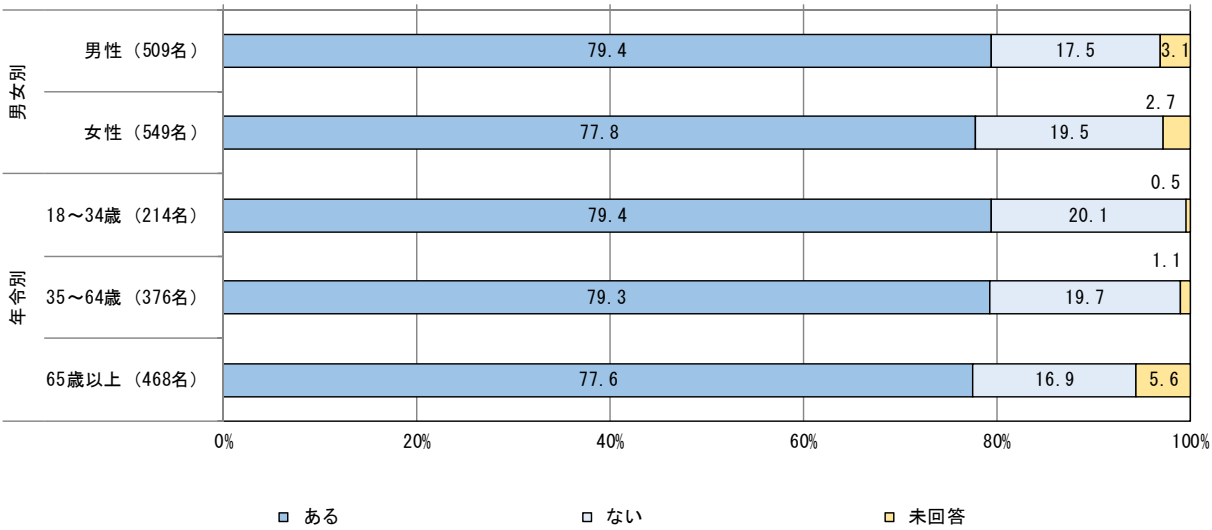
男女別では大きな差異は見られませんでした。

○年令別

年令別では大きな差異は見られませんでした。

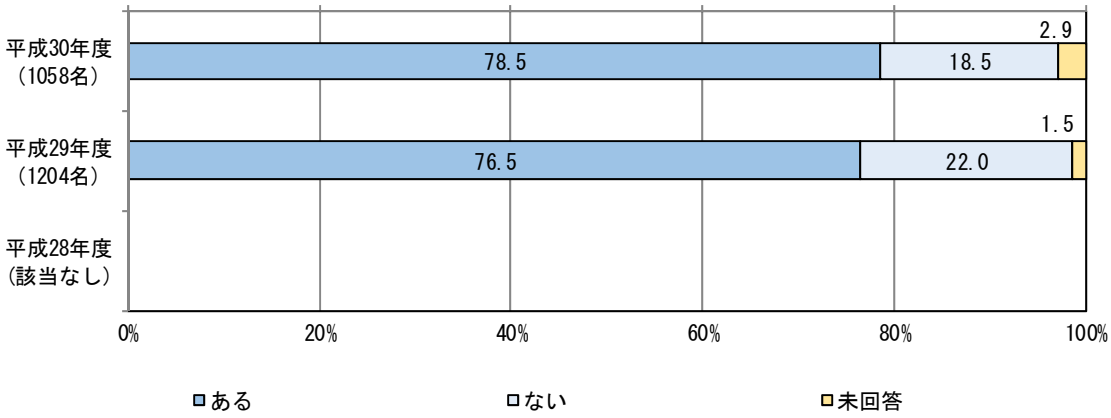


回答者数：1,058名
単位：%



○経年変化

「ある」の割合は平成 29 年度と比較しやや高くなりました。



問３－２　前項で「区役所を利用したことがある」と回答された方におうかがいします。あなたは、区役所を利用した際、案内サービスや窓口、電話などの応対がいいと感じましたか。

○全体

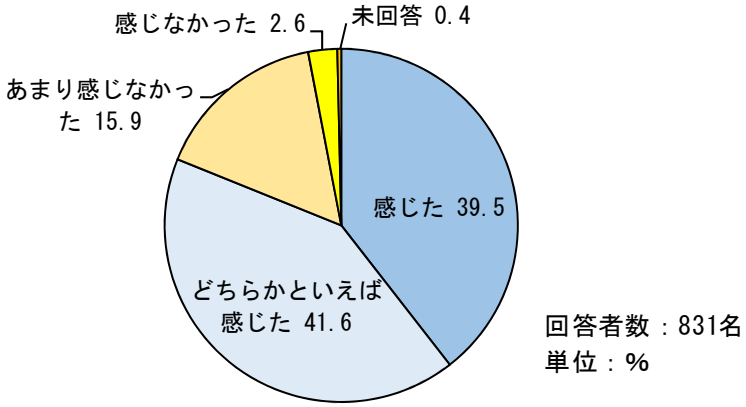
「感じた」と「どちらかといえば感じた」をあわせた割合は81.1％となり、多数の方が対応がいいと感じている結果となりました。

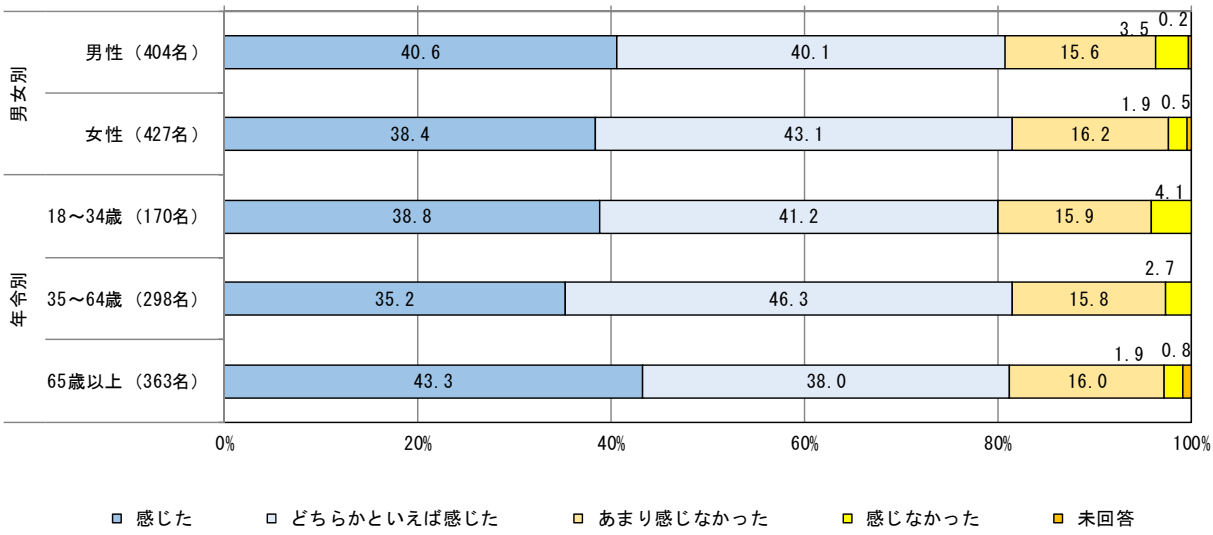
○男女別

男女別では大きな差異は見られませんでした。

○年令別

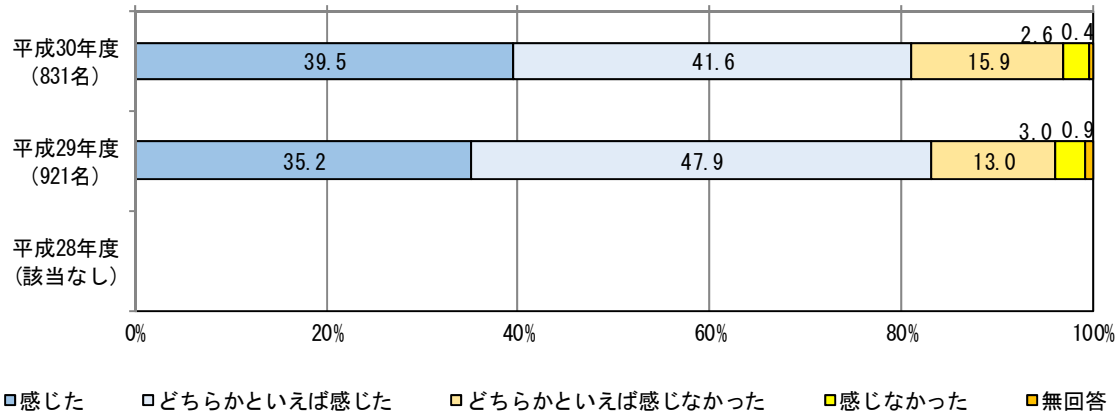
年齢別では大きな差異は見られませんでした。





○経年変化

平成 29 年度と比べ、大きな変化は見られませんでした。



問４　あなたが阿倍野区の情報を知るうえで、よく利用している媒体はなんですか。

○全体

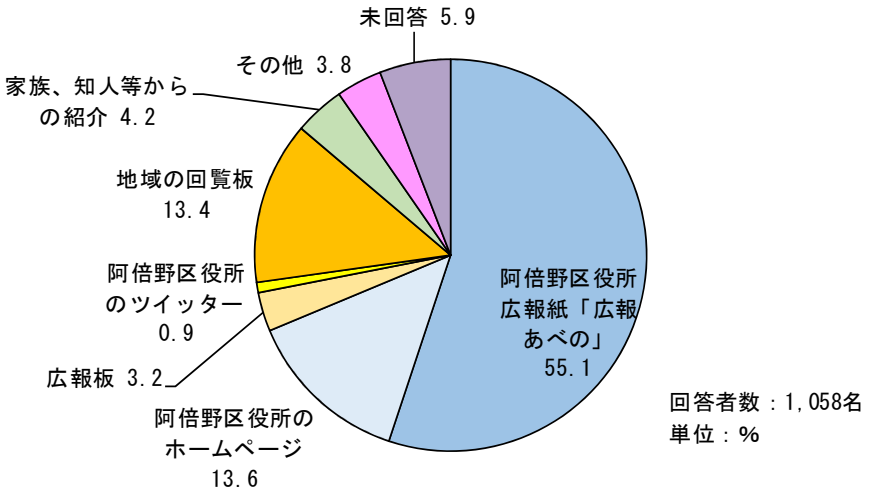
最も多かった回答は「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」(55.1%)、次いで「地域の回覧板」となりました。

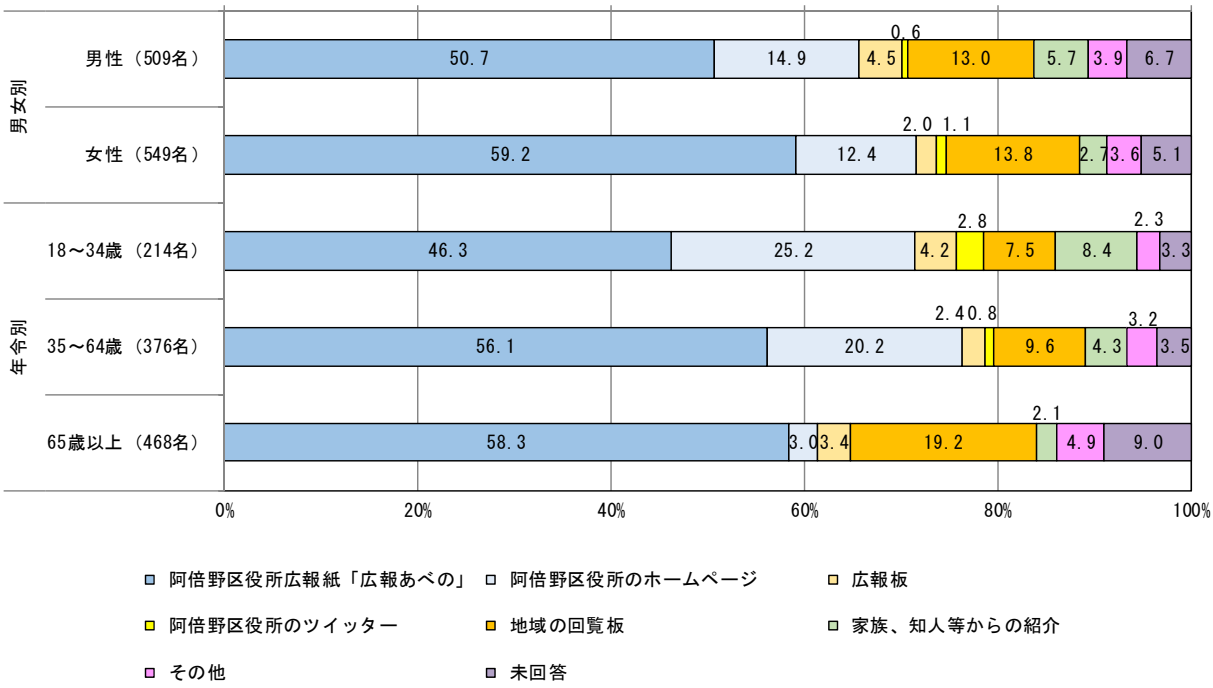
○男女別

男性で「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」から情報を得ている割合は 50.7%、女性は 59.2%となり、女性のほうが「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」から情報を得ている傾向が見られました。

○年令別

「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」から情報を得ている割合は、18～43 歳で 46.3%、35～64 歳で 56.1%、65 歳以上で 58.3%となり、年齢層が高くなるに従って「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」から情報を得ている割合が高くなる傾向が見られました。





地域の自主的なまちづくりの活動支援・促進

問５　あなたは、お住まいの地域において、様々な活動主体が協働し、自ら地域課題の解決に取り組むなどにより、地域が自立的に運営されていると感じますか

○全体

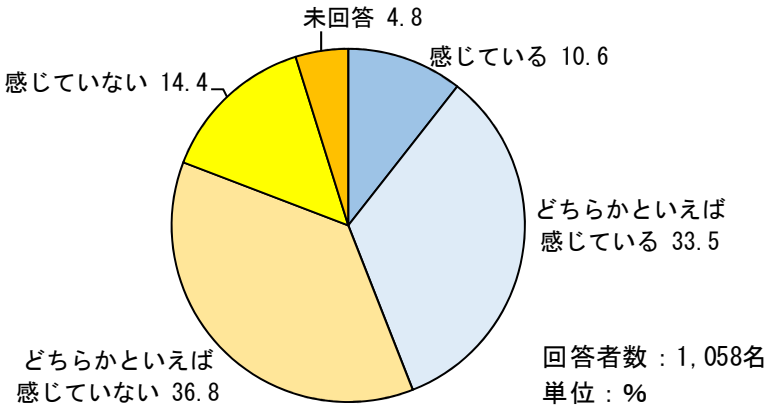
最も多かった回答は「どちらかといえば感じていない」で 36.8%でした。「感じていない」の割合をあわせると 51.2%となり半数の方が感じていない結果となりました。

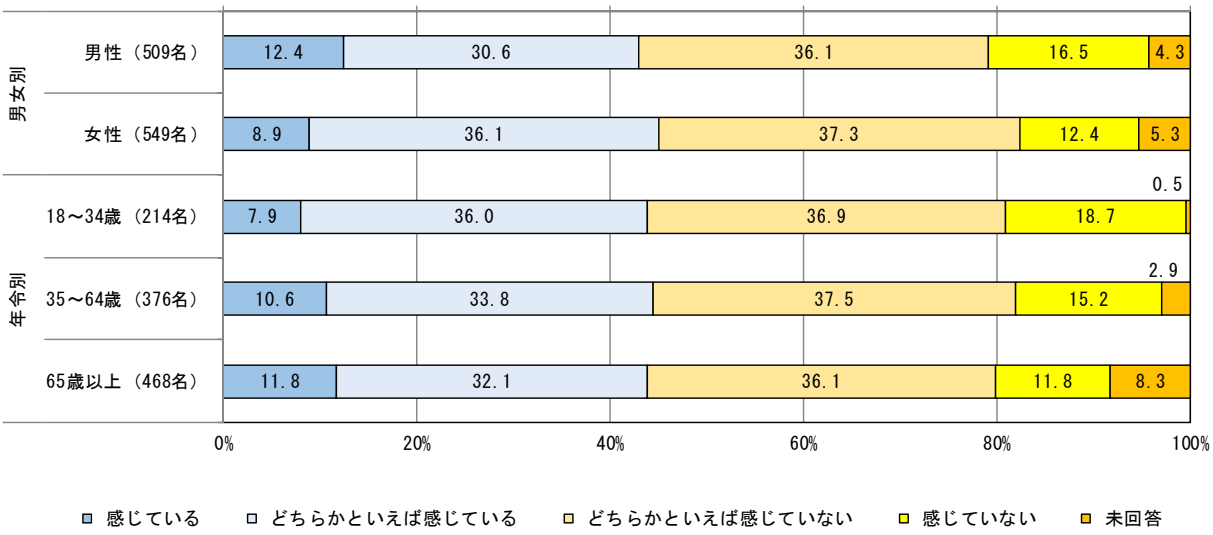
○男女別

男女別では大きな差異は見られませんでした。

○年令別

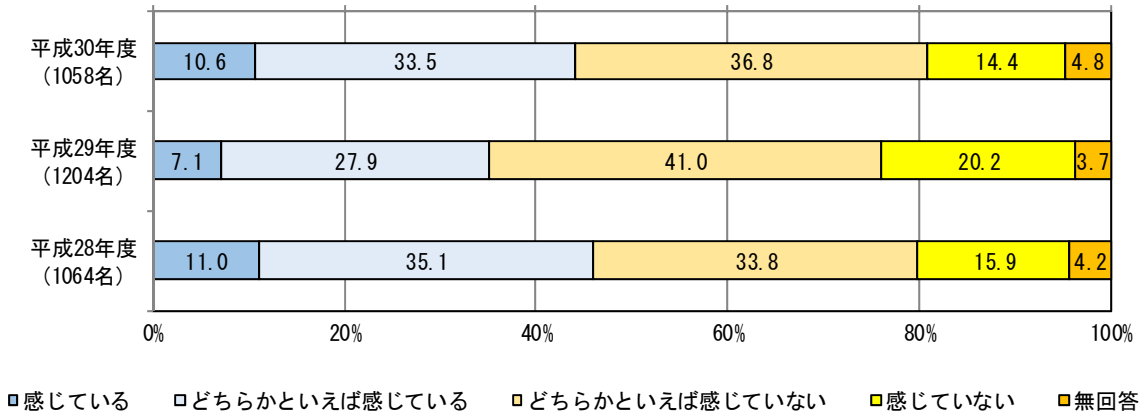
年齢別では大きな差異は見られませんでした。





○経年変化

「感じている」と「どちらかといえば感じている」の割合は、平成 29 年度（35.0%）は平成 28 年度（46.1%）と比べ低くなりましたが、平成 30 年度は 44.1%と高くなる結果となりました。



生涯学習推進・ルーム事業

問６－１　「生涯学習ルーム」の活動についてご存知でしたか

○全体

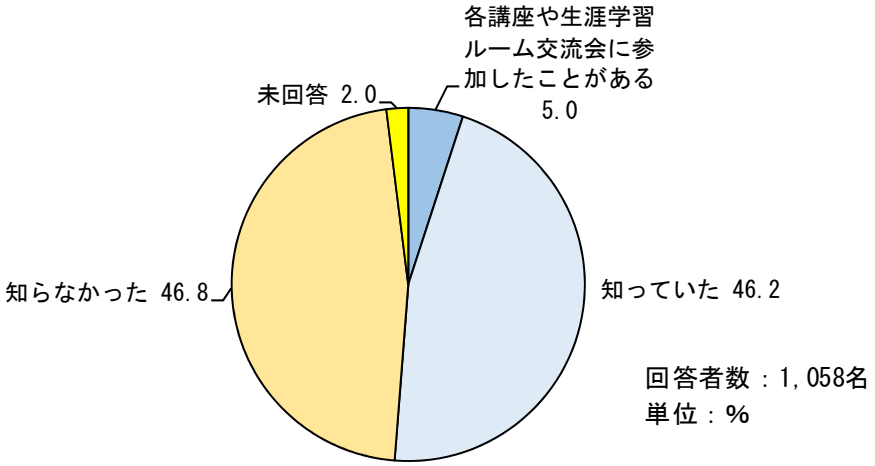
最も多かった回答が「知らなかった」で 46.8%でした。しかし、「知っていた」（46.2%）と「各講座や生涯学習ルーム交流会に参加したことがある」（5.0%）の割合を合わせると 51.2%となり、半数以上の方が知っている結果となりました。

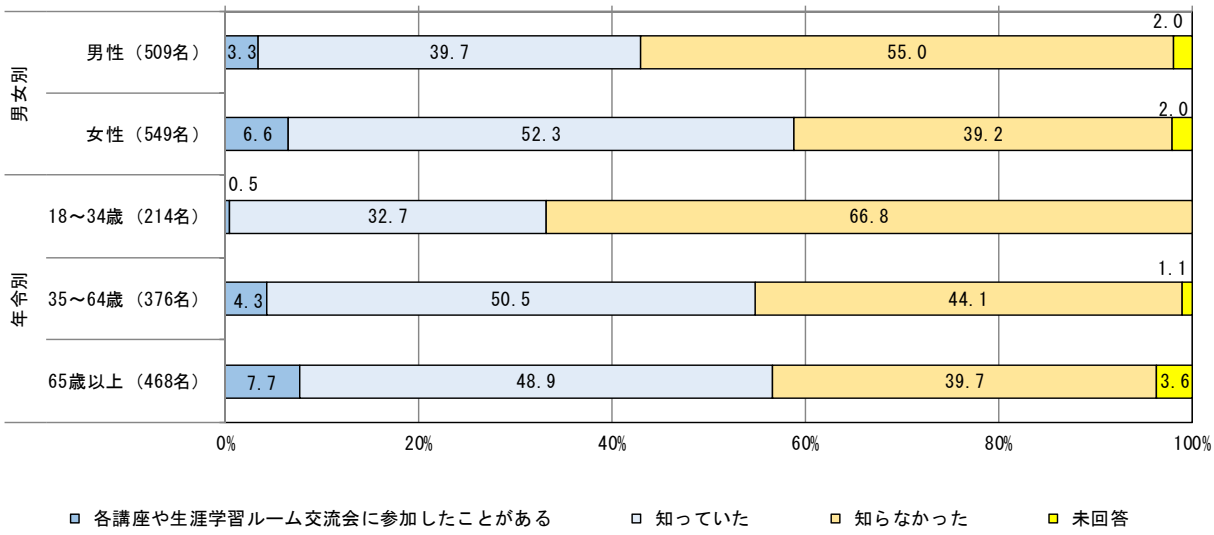
○男女別

「知っていた」を回答された男性の方の割合は 39.7%、女性は 52.3%となり、女性のほうが知っている結果となりました。

○年令別

「知っていた」と回答された 35～64 歳の方の割合は 50.5%、65 歳以上は 48.9%でしたが、18～34 歳の方は 32.7%となりました。高い年代の方が知っている割合が多い結果となりました。





問６－２　どのような分野の講座があれば、参加してみたいと感じますか（複数回答可）。

○全体

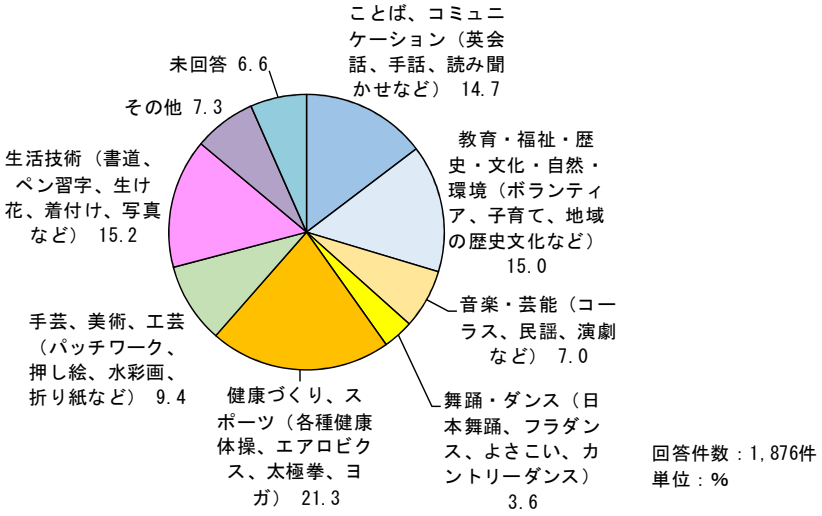
最も多い回答は「健康づくり、スポーツ（各種健康体操、エアロビクス、太極拳、ヨガ）」で 21.3%、次いで「生活技術（書道、ペン習字、生け花、着付け、写真など）」で 15.2%となりました。

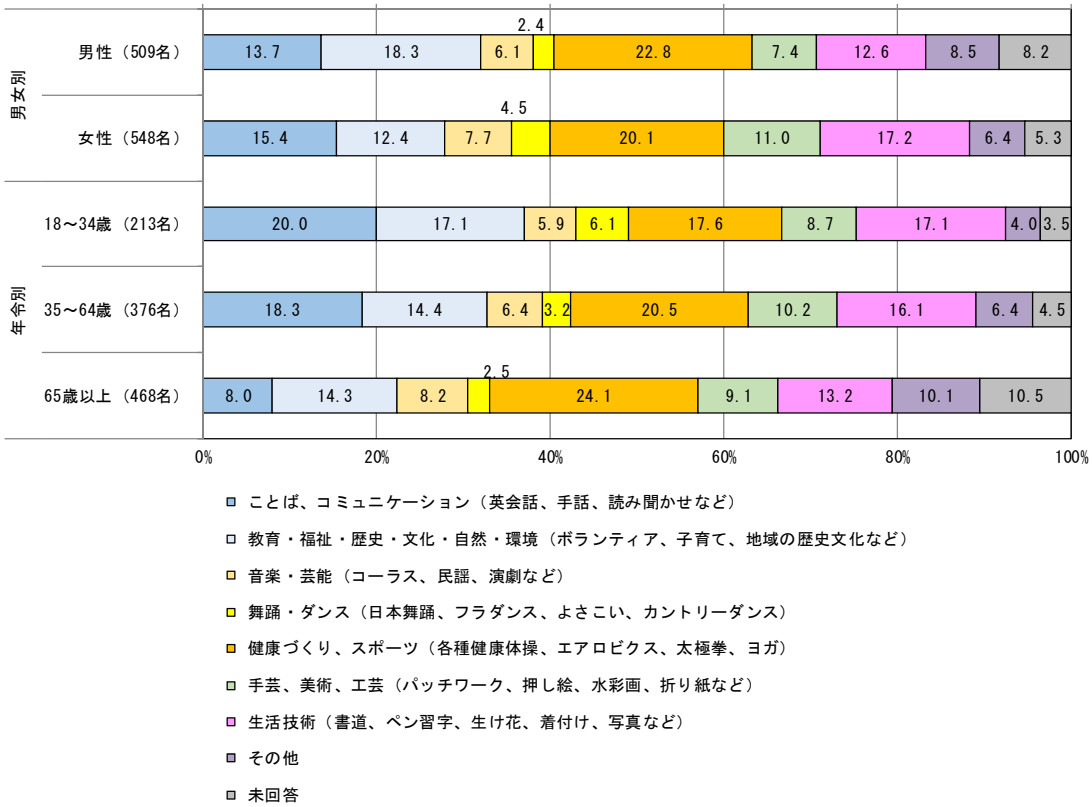
○男女別

男女別で大きな差異が見られたのは「生活技術（書道、ペン習字、生け花、着付け、写真など）」で男性が 12.6%、女性が 17.2%となりました。

○年令別

年令別では「ことば、コミュニケーション（英会話、手話、読み聞かせなど）」の割合は、18～34 歳で 20.0%、35～64 歳で 18.3%でしたが、65 歳以上では 8.0%と他の世代に比べ低い結果となりました。





問６－３　今後、地域の文化活動などの取組みに参加したいと思いますか？

○全体

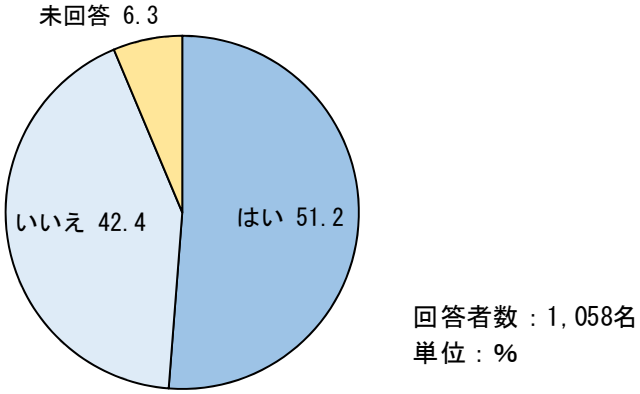
「はい」は 51.2%、「いいえ」は 42.4%となり、半数以上の方が参加したいと思っている結果となりました。

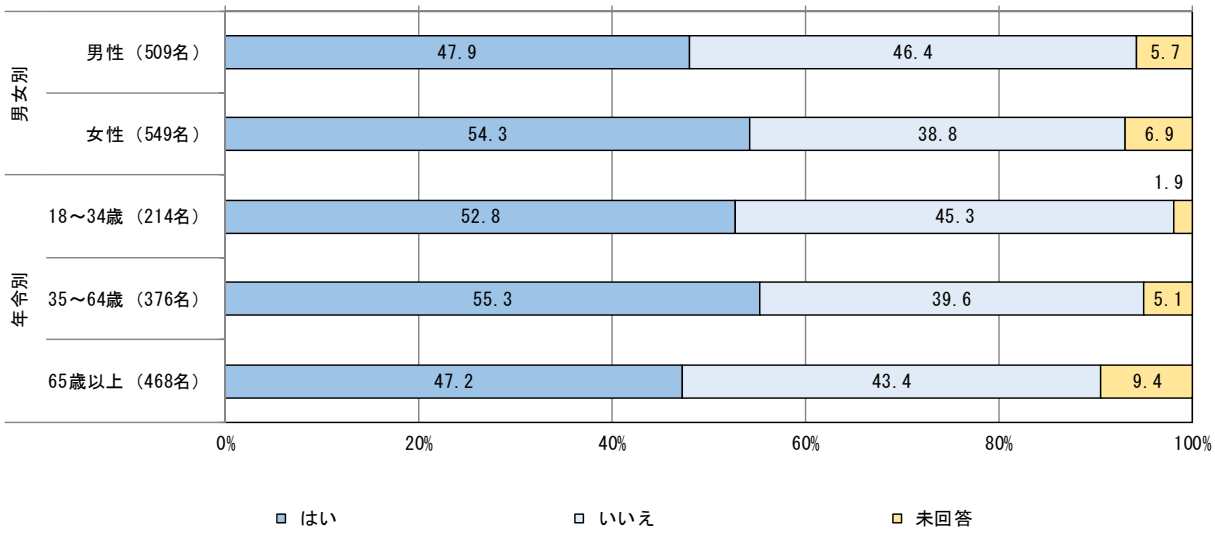
○男女別

「はい」と回答された男性の方は 47.9%、女性は 54.3%となり、女性の方が参加したい割合が高い結果となりました。

○年令別

年令別では「はい」と回答された 65 歳以上の方は 47.2%となり、他の世代に比べ低い結果となりました。





問６－４　問６－３において、「はい」または「いいえ」とお答えいただいた理由をお聞かせください。

〇問６－３にて「はい」と回答された方の主なコメント

最も多かったのが「地域とのかかわりを持ちたい」という内容でした。また、「学びたい、興味がある」「体力増進・健康維持」などのコメントも多数見られました。

〇問６－３にて「いいえ」と回答された方の主なコメント

最も多かったのが「時間がない・忙しい」という内容でした。また、「興味がない」「高齢のため」などの意見もありました。

地域福祉計画推進支援事業

問７　地域団体、ボランティアグループ、事業者、NPO など様々な活動主体が行う活動により、地域の特色を活かした「地域福祉」が進んでいると感じていますか。

○全体

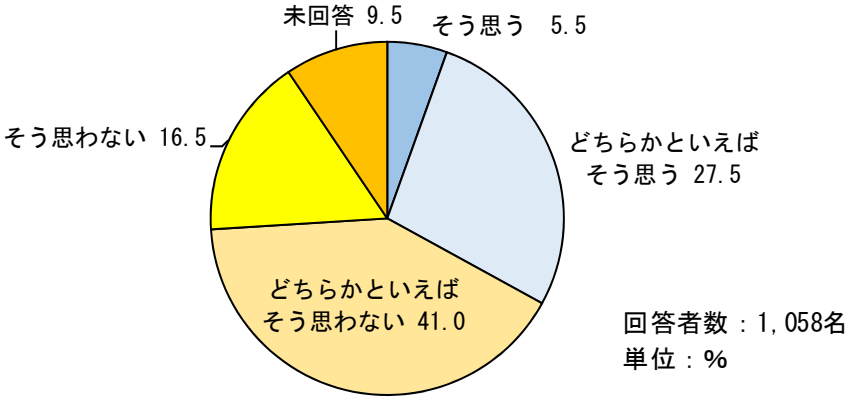
最も多かった回答は「どちらかといえばそう思わない」で 41.0%、次いで「どちらかといえばそう思う」で 27.5%となりました。

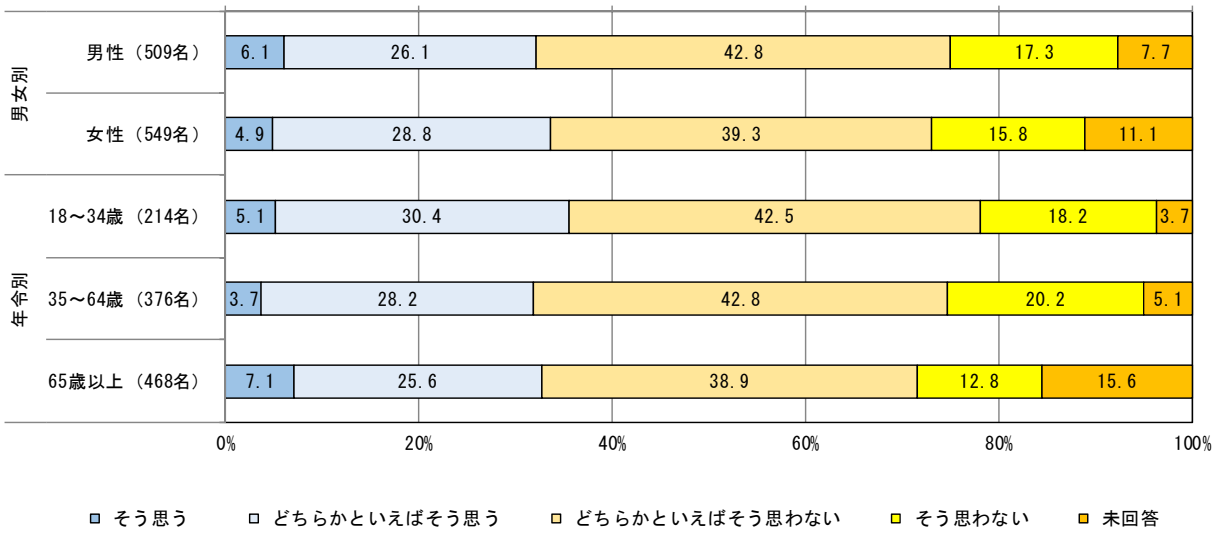
○男女別

男女別では大きな差異は見られませんでした。

○年令別

年令別では大きな差異は見られませんでした。





生活困窮者自立相談支援

問８－１　あなたは、「生活相談窓口あべの」を知っていましたか。

○全体

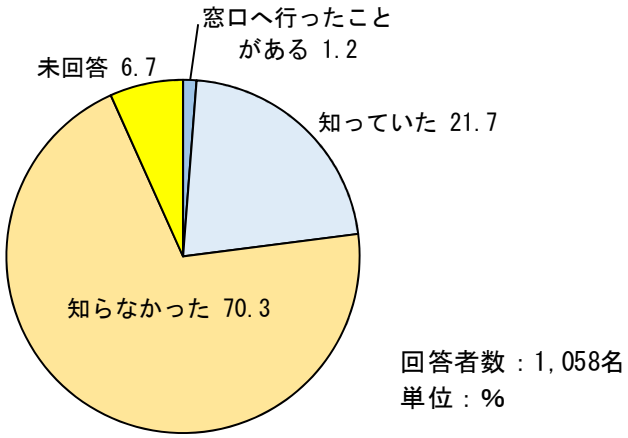
「知らなかった」と回答された方の割合が最も高く 70.3%となりました。

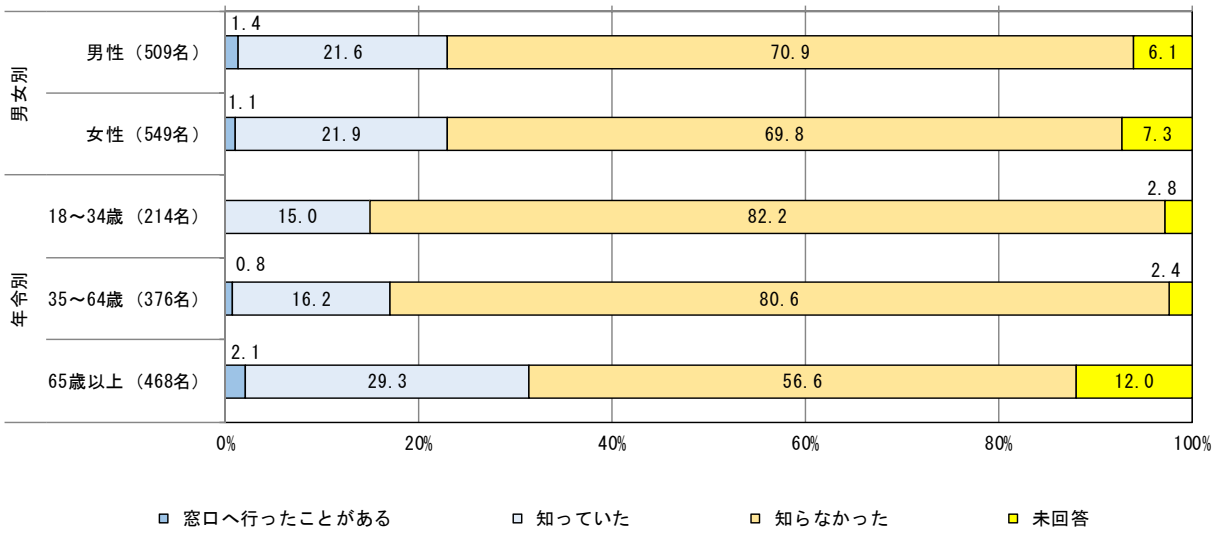
○男女別

男女別では大きな差異は見られませんでした。

○年令別

「知っていた」と回答された方の割合が最も高かった年代は 65 歳以上で 29.3%となりました。





問８－２　（問７－１で「窓口へ行ったことがある」または「知っていた」と回答された方におうかがいします。）
あなたは、窓口のことをどのようにして知りましたか。

○全体

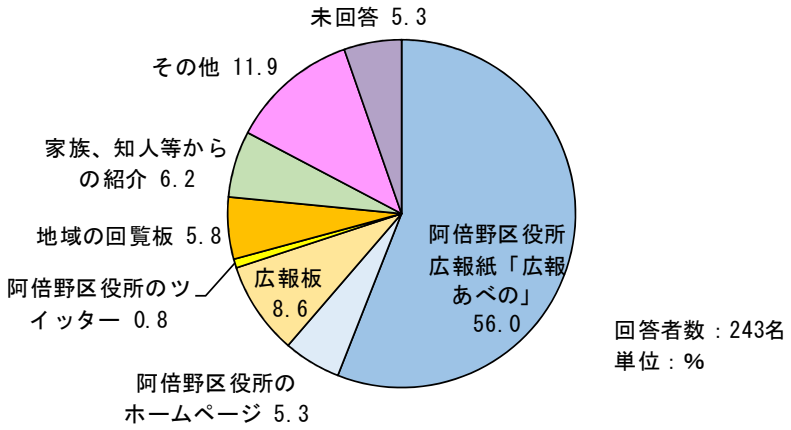
最も多かった回答は「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」で 56.0%でした。次いで「広報板」が 8.6%と続きました。

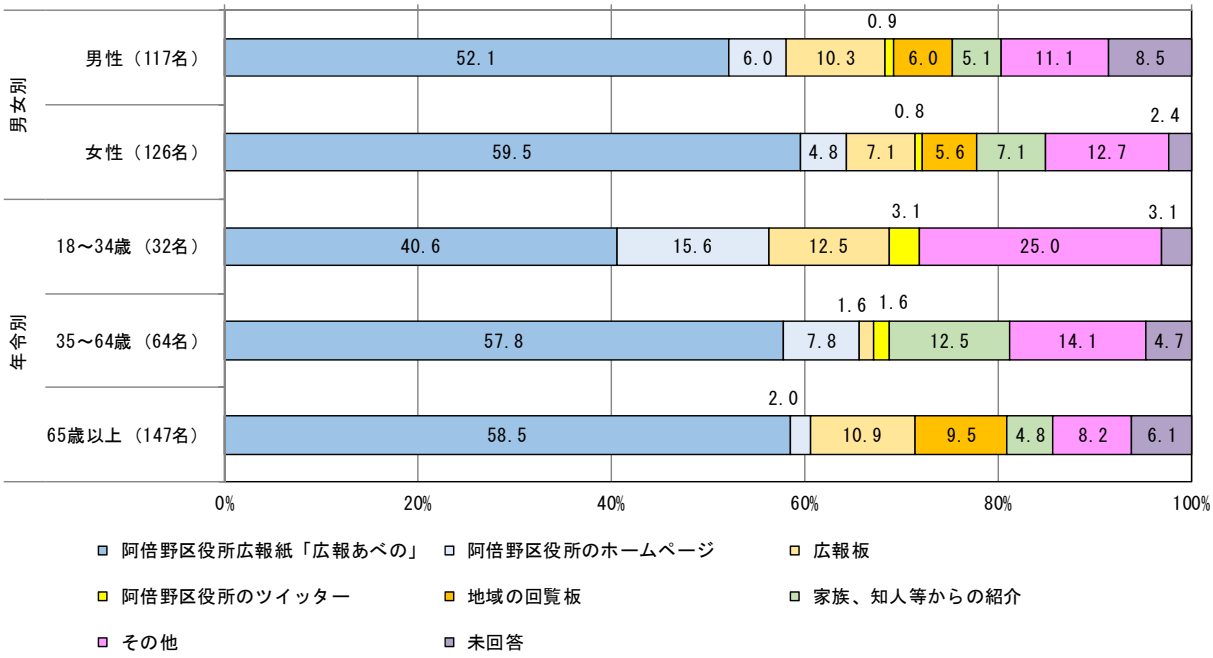
○男女別

男性で「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」を回答された方の割合は 52.1%、女性は 59.5%となり、女性のほうが広報紙から知った割合が高い傾向が見られました。

○年令別

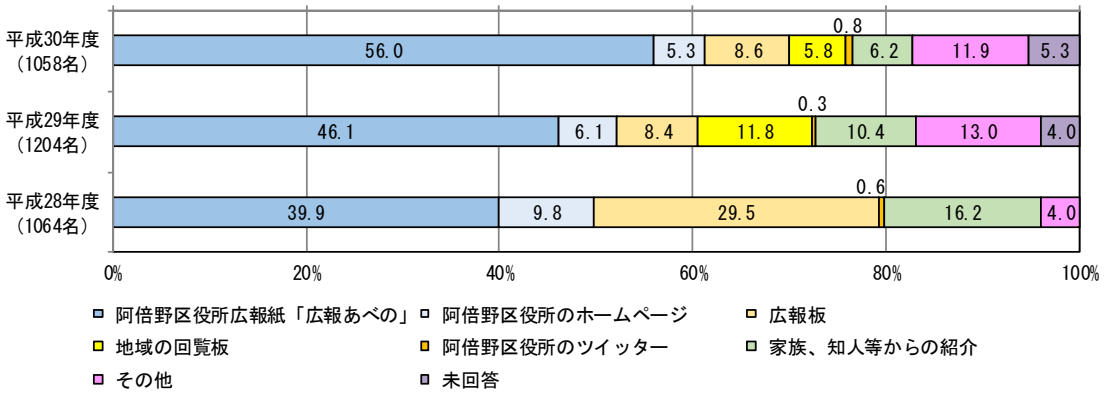
「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」を回答された方の割合は 18～34 歳で 40.6%でしたが、他の世代では、60%近い割合となりました。





○経年変化

「阿倍野区役所広報紙「広報あべの」」を回答された方の割合は平成 28 年度で 39.9%でしたが、平成 29 年度は 46.1%、平成 30 年度は 56.0%となり、割合が高くなる傾向が見られました。



※平成 28 年度の広報板には回覧板の回答割合も含む。

問９　現在、生活に困っていることがありますか。（複数回答可）

○全体

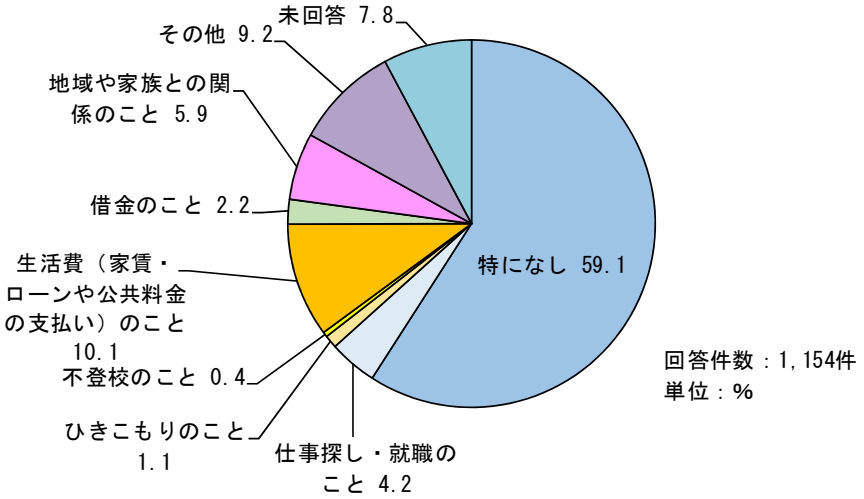
最も多かった回答は「特になし」で 59.1%でした。次いで「生活費（家賃・ローンや公共料金の支払い）のこと」（10.1%）、「地域や家族との関係のこと」（5.9%）と続きました。

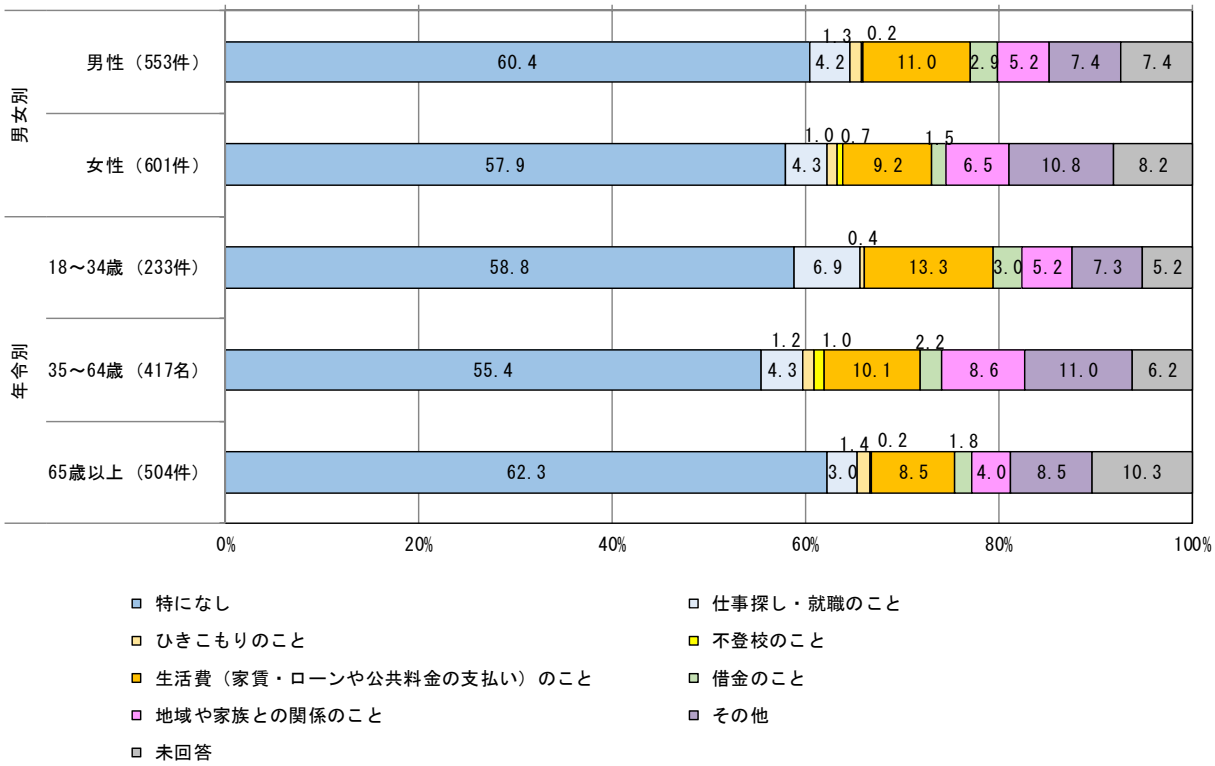
○男女別

男女別では大きな差異は見られませんでした。

○年令別

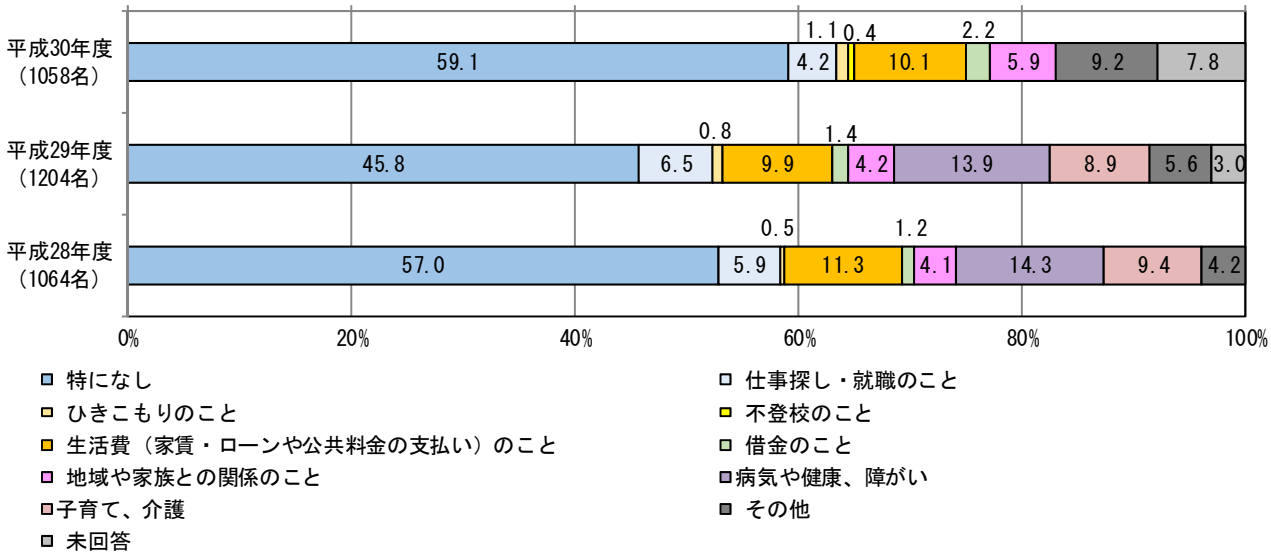
年令別では大きな差異は見られませんでした。





○経年変化

「特になし」の割合は平成 29 年度で 45.8%と平成 28 年度より低い結果となりましたが、平成 30 年度は 59.1%と高い結果となりました。



※H30 は「病気や健康・障がい」「子育て・介護」の選択肢ないため、H28、H29 の比較のみ。
※H28、H29 の引きこもりには不登校の割合も含む

○　「８ その他」の自由記述欄

自由記述欄に記載されていた主な内容として、「年金が少ない」「病気・健康」「家族内の障がい者」がありました。

その他区政全般

問１０　その他、区政全般に関するご意見がありましたら、お書きください。

○　自由記述欄の内容

記載されていた主な内容は「区の職員の対応」、「このアンケートについて」、「都構想」、「交通・移動手段」がありました。